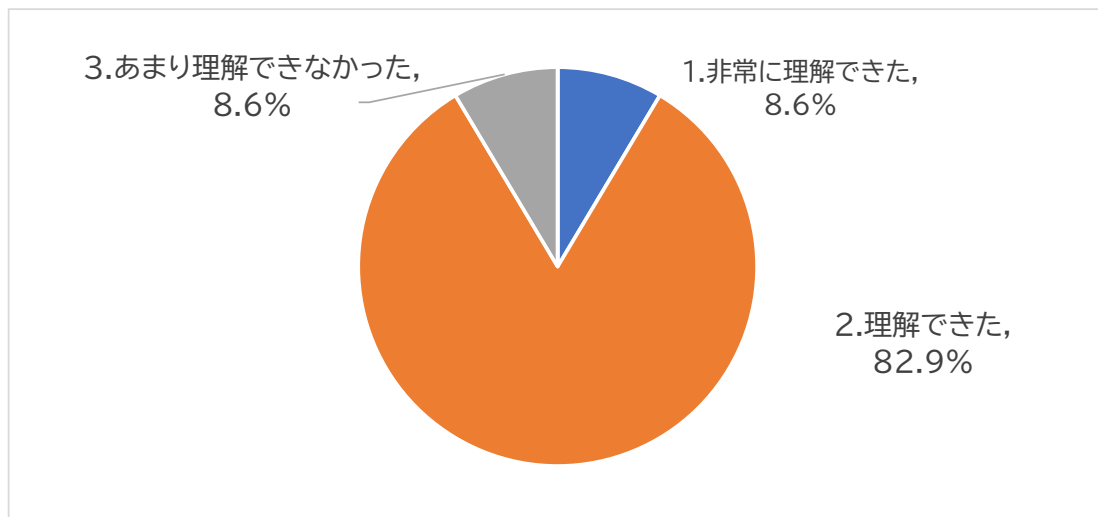


■市民協働研修(若手職員)アンケート

《調査概要》	回答期間: 令和5年11月30日～令和5年12月13日 回答方法: e-KANAGAWAにて回答 回答対象: 市民協働研修(若手職員)の受講者 対象者数: 39人 回答者数: 35人 回答率: 約90%	n = 35
	※問6 自由記述のみ。	

【問1】 今回の研修を受けて、協働について理解が深まりましたか。その理由をお書きください。

1.非常に理解できた	3	8.6%
2.理解できた	29	82.9%
3.あまり理解できなかった	3	8.6%
4.理解できなかった	0	0.0%



【理解できた】

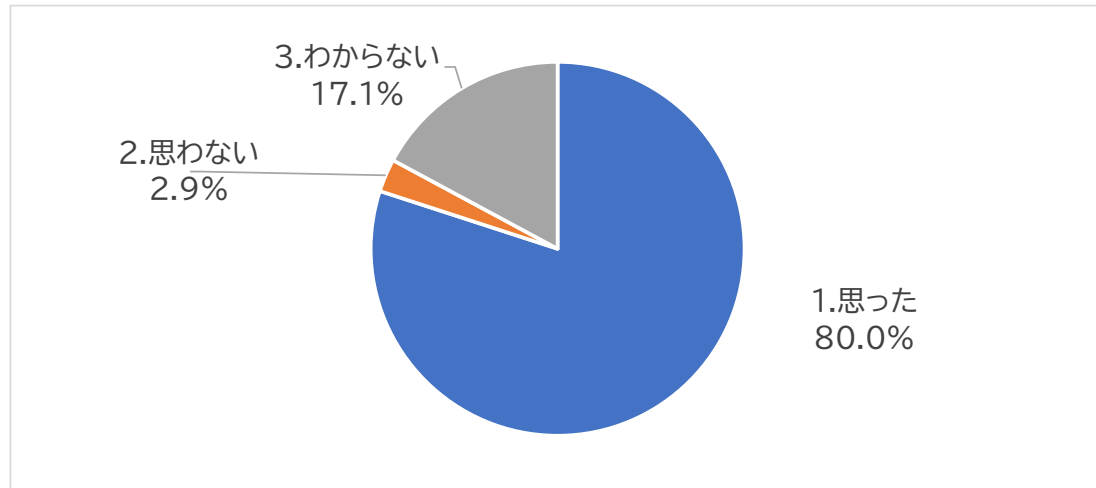
- ・協働相手とは対等で本音で語り合えてこそという話があり、今後意識していきたいと思いました。次回の実務体験学習もなかなか無い機会なので学べることを楽しみにしている。
 - ・日常業務では協働という考え方や接する機会がなかったため、市民と協働して企画を運用するという発想を得られたことが貴重でした。
 - ・市民協働について、概要を知ることができました。日本ではあまり広がっていないように印象を受けますが、社会的には今後必要とされていて広げていくものなのだと認識しました。
 - ・協働にあたっての行政職員としての姿勢を学んだ。
 - ・一方で、協働は手段であり、目的にしてはいけないという点はその通りだと理解できました。
 - ・研修が計4日間となると聞き、期間が長く業務に支障がでると感じた。
 - ・講師の方が年齢が高くベテランという意味では説明も分かりやすかったです。出てくる情報が最新版でも2016年などと、情報が古いものが多い印象であった。私があまり外との「協働」事業に取り組んだ経験が乏しく誤っている可能性はありますが、「協働」って最終的には行政負担に変化していくのではないかと恐れている。
 - ・特にNPO団体の解散や代表者の高齢化に伴い、行政が協働していたNPO団体が消滅した際に、引継ぎ等が次の他のNPO団体に引き継がれて、またその団体が行政と協働を行ってくれるのか気になった。NPO団体の平均寿命が10年という現実の中で、行政とNPO団体が協働を始めて10～20年先に行政への押し付けが始まり、行政負担の増加が見込まれることは想像に難くないと考える。
 - ・これから定年延長で向こう40年働くことを考えると、「協働」する団体をきちんと選定して持続可能な「協働」が必要であると感じた。
- 別の組織と協働することの難しさとその意義を認識することができた

【あまり理解できなかった】

- ・協働という考え方を初めて伺いましたが、「理想や正解はない」、「自身と合わない相手とであれば断ることも必要」等の考え方が非常に抽象的で具体的なイメージというものが見つからなかったため。
- 一方で、協働は手段であり、目的にしてはいけないという点はその通りだと理解できました。

【問2】 今回の研修を受けて市の事業実施の手段として協働が効果的だと思いましたか。その理由をお書きください。

1.思った	28	80.0%
2.思わない	1	2.9%
3.わからない	6	17.1%



【思った】

- ・市民と協力して事業実施することで、それぞれが持つ利点を活かして相乗効果を上げられると効果的になるとは思いますが、実際に進めていくには問題点が出てくるので、当事者意識を持って取り組んでいくことが大切だと思います。
- ・社会的価値の実現のため、多様な主体が様々な視点で対等に事象と向き合うことで、単独実施よりも可能な幅が広がると思ったから。
- ・市ではできることに限りがあるため、民間や市民の視点も取り入れることが大事だと感じる

【思わない】

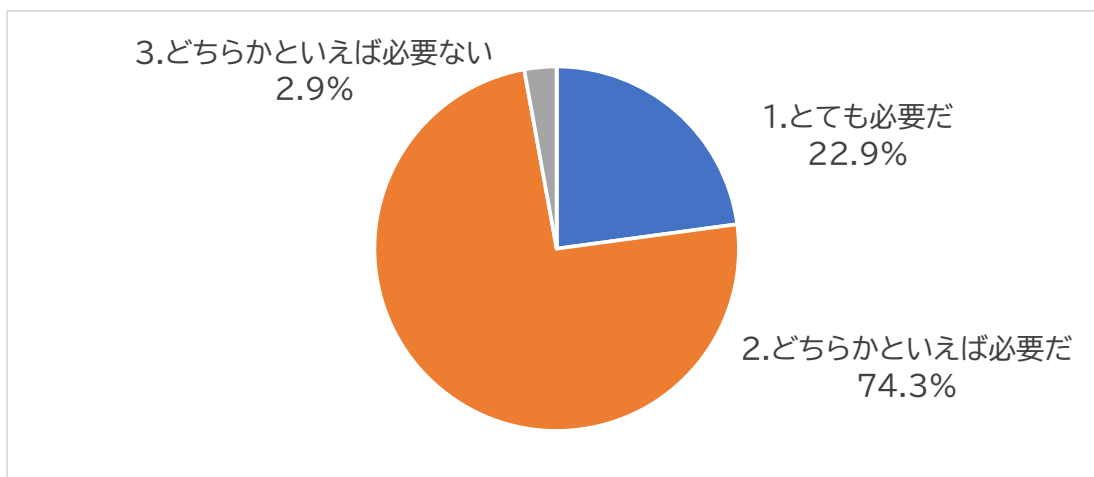
- ・もう少し自分の視野を広げる必要は大いにあるが、40年働くことを考えたときに行政の仕事をどこまで縮小していくかを考えるフェーズに入っていると感じる。
- 将来のことを考えての「協働」であるならば、労働人口がかろうじて多い間にスタートダッシュを切らないと、おっしやっていたとおり、初期が非常に負担が大きいので、職員が減ったときに始めるのでは間に合わないと思った。

【わからない】

- ・前述のとおり、現状では協働の考え方ややり方は私自身が今一つ掴み切れていませんが、印象としては具体的なアクションプランまで落とし込めていない考え方と感じました。そのため、実際の現場で実施することは難しいと感じましたが、今後の体験研修を通して、実際に活用できるかは判断したいと思いますので現状では「わからない」と回答させて頂きました。

【問3】協働の必要性の度合いについて

1.とても必要だ	8	22.9%
2.どちらかといえば必要だ	26	74.3%
3.どちらかといえば必要ない	1	2.9%
4.必要ない	0	0.0%



【どちらかといえば必要だ】

・必要ではあるが、なかなか進まない面もあると思います。例えば、資金や運営面での信頼性を確認することなども時間や手間がかかると思いますし、事務の時間もかかり、進めにくい要素が種々あると思います。

いくつかの良い事例を重ねて地道に進めていくことが良いと考えます。

・ガス抜きとしては少なくとも必要とを感じるから。

・一部の市職員だけでなく、他部署との連携や庁外の方との協力によってより大きな成果を得ることも可能な場面はあると思います。そのため、もう少し、実際の現場での具体的な活用例や、適用するまでのプロセスをイメージできれば効果的に活用できる場面が想像できると思いました。

・公平性を担保したうえで協働は必要と思いました。

非常に重要ではあるものの時間や労力を要するものであり体制が整っていないと難しいため

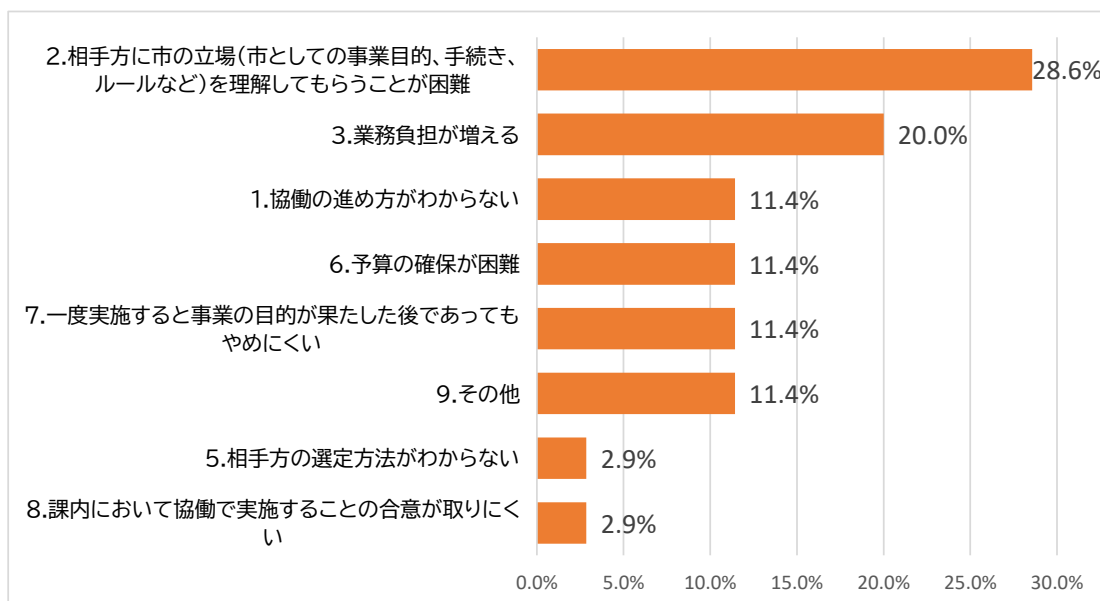
【どちらかと言えは必要ない】

本市の協働率が他市と比較してどれくらいか数値がなく、分からない。

また、協働における必要度合いが現状で足りているのであれば、新規における「協働」は不要ではないかと考える。

【問4】協働を実施するにあたり課題になることは何ですか

2.相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難	10	28.6%
3.業務負担が増える	7	20.0%
1.協働の進め方がわからない	4	11.4%
6.予算の確保が困難	4	11.4%
7.一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい	4	11.4%
9.その他	4	11.4%
5.相手方の選定方法がわからない	1	2.9%
8.課内において協働で実施することの合意が取りにくい	1	2.9%



【相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難】

- ・丁寧に詳しく説明しても、断固反対の立場を貫く相手がいると難しい。
- ・課内別担当がエール事業で採択された事業を実施していますが、行政の認識と市民団体の認識に齟齬が非常に多く、その結果業務負担が大きくなっていると聞いています。
- ・相手方が忙しく連絡がとれないことが多いと事業を実施すること自体に不安が生じる)
- ・市民個人への対応でも市のできる範囲を理解してもらうことが難しいと感じます。明確な目的意識のある団体相手に対してはよりそういった衝突がありそうです。
- ・相手は基本的に民間の方なので、役所のやり方(お金の使い方)を理解してもらうのは難しいのではと思いました。
- ・お互いの共通認識をもつのに時間がかかりそう

【業務負担が増える】

- ・事務手続きが増え、本来の協働内容に集中できない可能性が考えられる。
- ・話し合いを重ねるため、開始までのインシャルコストがかかる
- ・協働における双方のルール等について折衝に苦労を要すると思われる
- ・向こう数十年後の業務負担増が見込まれる

【協働の進め方がわからない】

- ・具体的な進め方がイメージできると良いと思いました。

【予算の確保が困難】

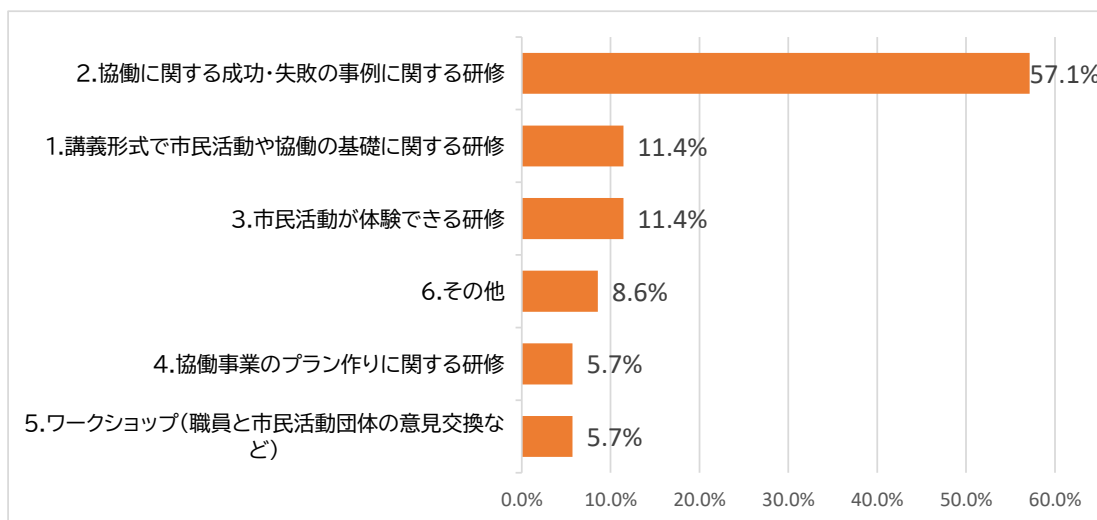
- ・協働内容が明確または確実な効果が得られる見込みがなければ確保が難しいと感じました
- ・すぐに結果が目に見える形で評価しづらい事業の場合、予算の必要性を納得してもらえるよう説明することが難しいかもしれない
- ・活動の成果がすぐに出ず、必ずしも効果があるとは限らないこと

【課内において協働で実施することの同意が取りにくい】

- ・条例の位置づけが曖昧

【問5】 今後、どのような研修があれば協働の推進に役立つと思いますか。受けてみたい研修内容を選択してください。

2.協働に関する成功・失敗の事例に関する研修	20	57.1%
1.講義形式で市民活動や協働の基礎に関する研修	4	11.4%
3.市民活動が体験できる研修	4	11.4%
6.その他	3	8.6%
4.協働事業のプラン作りに関する研修	2	5.7%
5.ワークショップ(職員と市民活動団体の意見交換など)	2	5.7%



【問6】 市民活動や協働の推進にかかる施策についてご提案やご意見等がございましたら、ご記入ください

【自由記述】

協働の活性化のために、成功事例を周知し、市民に啓発や認知を広めることで、鎌倉市のイメージがアップし、市民の誇りも高まり、鎌倉市は古いものを大切にしながら、新しいことにも取り組んでいることを印象付けることで、協働の活性化につながると思いました。

講義の内容が難しかったですが、概ね「協働」の考え方を理解することができました。

協働に取り組んでくれている課がある以上、組織としても市民としても必要なことであることは重々承知している。私の知見が乏しいことによるものも大いにあると思うので、もっと勉強しなきゃいけないと気付かせていただいた研修でした。今後の協働についても推進はしていただきたいとは思いますが、「持続可能な協働」に取り組んでいただけると幸いです。